

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい入浴			整理番号	289		枝番号		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2144		
係名		いきがい活動支援係			上位施策名				No	
予算事業名		ふれあい入浴		コード	24950		高年齢者の社会参加と交流の拡大	291		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成 49年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱					
	入浴事業は60歳以上の区民と付添者。健康事業は55歳以上の区民。									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）							
区内の公衆浴場を借上げ、毎月第1・第3日曜日または第2・第4日曜日に、浴場の半数ずつを利用料100円で高齢者に開放する。併せて各浴場で年2回健康事業を試行的に実施する。		高齢者が公衆浴場に出向き、心身のリフレッシュを図るとともに、高齢者同士の親睦を深めることで、社会参加、交流の拡大が図られ、健康増進につながる。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 年間延べ利用者数		(1) 高齢者(60歳以上)一人あたりの年間利用回数 = 年間延べ利用者数 ÷ 60歳以上人口								
(2) まちの湯健康事業実施浴場		(2) まちの湯健康事業実施浴場の割合 = 実施浴場数 ÷ 区内公衆浴場数								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		人	97,961	94,223	117,600	86,250	73,920		
	活動指標(2)		所					30		
	成果指標(1)		回	0.85	0.80	0.98	0.72	0.39		
	成果指標(2)		%					68.18		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	36,119	35,337	35,722	34,038	30,882	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)の計画値 16年度 = 実施浴場 × 年間実施回数 × 100人 で算出 17年度 = 実施浴場 × 年間実施回数 × 70人 で算出 活動指標(2)及び成果指標(2)の17年度計画値 17年度新たに事業委託した「まちの湯健康事業」の指標	
	(内)委託費		千円	36,060	35,190	35,280	33,750	30,732		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.35	0.40	0.50	0.40		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,725	3,148	3,640	4,550	3,640		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	38,844	38,485	39,362	38,588	34,522		
	単位あたりコスト ÷		円	397	408	335	447	467		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円	18,109	17,763	17,861	17,040		8,184
		特定財源計 +		千円	18,109	17,763	17,861	17,040		8,184
差引:一般財源 -		千円	20,735	20,722	21,501	21,548	26,338			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	73.3	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	95.3	ふれあい入浴を実施している公衆浴場が廃業(17年3月末現在5浴場)により減少したため、利用者数の計画を26.7%下回るとともに、実施回数が減少した。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度は高齢者同士の交流の場の拡大を主とした入浴事業に加え、高齢者の健康増進を目的とする健康事業を試行的に行った。17年度はその実施結果に基づき、健康事業が実施可能な浴場を対象に、入浴事業とは別に新たに健康事業(まちの湯健康事業)を杉並浴場組合に委託した。また、ふれあい入浴の利用実績に基づき、17年度入浴事業委託料の契約単価を削減した。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成17年度 44か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成17年度 122,717人(23.4%)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	日頃体を動かす機会が少ないので、健康事業を継続的に行って欲しい。
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)の人口増加
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:高齢者の憩いの場として、高齢者同士が親睦を深めることにより、社会参加、交流の拡大に貢献している。また、継続的に健康事業を実施することにより、介護予防を推進することができる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:入浴事業に健康事業を付加することにより、高齢者の健康増進が図られる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:都の補助に依存するところの大きな事業であり、都の方向性の変化に伴い、浴場の事業内容によって入浴料金の値上げもあり得るが、浴場組合の収入となる
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:1回あたりの委託料は、公衆浴場の入浴料金の差額と利用者数を基礎に算定しており、受益者負担を見直さない限り困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:高齢者の憩いの場として高齢者同士親睦を深めることを目的とし、区内の公衆浴場を廉価で開放する事業を浴場組合に委託している。また、16年度は地域活動栄養士会やNPOに講師を依頼し各浴場で健康事業を試行的に実施した。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 入浴事業及び健康事業を浴場組合に委託するとともに、シルバー人材センター及びNPO法人等に健康事業の講師の派遣を依頼する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 17年度から実施のまちの湯健康事業を検証したうえで、入浴のみの事業の廃止も視野に入れ、まちの湯健康事業への全面移行の可能性を検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 健康事業を実施できない浴場がある。 公衆浴場を介護予防の拠点と位置づけ、浴場組合と十分協議しながら事業を推進する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	まちの湯健康事業を検証するまでの間、入浴事業を現状どおり継続する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		風呂っと杉並事業支援				整理番号	290		枝番号						
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2144		昨年度整理番号	292				
係名		いきがい活動支援係				上位施策名			No						
予算事業名		風呂っと杉並		コード	22450		高齢者の社会参加と交流の拡大			30					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業								
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等										
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区風呂っと杉並事業補助金交付要綱										
	50歳以上の区民		(2)												
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(3)												
	区内の公衆浴場を4名以上の50歳以上の高齢者のグループに有料(利用料一人100円)で開放し、自主的な活動や交流の拠点とする風呂っと杉並事業に要する経費について、運営費及び施設改修費を補助する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 公衆浴場が高齢者の健康や生きがいを目的としたグループ活動の拠点となり、高齢者の社会参加と交流の拡大が図られ、健康増進につながる。												
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標													
(1) 風呂っと杉並事業を実施する浴場数		(1) 1所あたりの1か月の利用者数													
(2)		(2)													
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		所	16		17		20		17		20			
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		人	14.1		18.4		23.9		20.0		22.0			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,077		5,863		10,890		7,371		10,890		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円												
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30		0.35		0.40		0.50		0.40			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,725		3,148		3,640		4,550		3,640		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	10,802		9,011		14,530		11,921		14,530			
	単位あたりコスト ÷		円	675,125		530,059		726,500		701,235		726,500			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円	2,700		2,487		2,445		2,445		5,445		
		特定財源計 +		千円	2,700		2,487		2,445		2,445		5,445		
差引:一般財源 -		千円	8,102		6,524		12,085		9,476		9,085				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		85.0		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%		67.7			
		新たに実施する浴場がなかった為、浴場施設改修及び事業用備品購入の件数が計画を下回った。													
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		公衆浴場を介護予防事業の拠点として位置づけることについて、介護予防システム構築作業部会で検討している。													

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	・公衆浴場数 昭和49年度 111か所 平成17年度 44か所 ・高齢者(60歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和50年 58,463人(10.9%) 平成17年 122,717人(23.4%)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	身近な公衆浴場で高齢者同士の交流ができるので、一人暮らしの高齢者にとっては閉じこもりが防げる。
	今後の予測	・公衆浴場の減少 ・高齢者(60歳以上)の人口の増加
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:高齢者の健康やいきがいを目的としたグループ活動の拠点とすることで、高齢者の社会参加、交流の拡大に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容::浴場組合の自主事業であるため、組合員相互の情報交換や事業のPRを積極的に行うよう指導する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:浴場組合の自主事業を支援しているため、受益者負担を見直す余地はない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:実施浴場が回数を重ねるごとに浴場組合の持ち出しが多くなる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:高齢者の活動、交流を促進するために、杉並浴場組合の自主事業で公衆浴場を開放し実施する風呂っと杉並事業に要する経費の一部を補助している。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 公衆浴場が介護予防事業の拠点の一つとして検討されているので、現在の風呂っと杉並事業の形態を残しつつ、介護予防事業への拡大が可能か浴場組合と検討する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 介護予防システム構築作業部会で介護予防事業の拠点として浴場の可能性を検討しているので、風呂っと杉並事業が拡大発展できるよう浴場組合と検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 介護予防事業を実施できる浴場が少ない。 風呂っと杉並事業を実施している浴場を中心に実施を呼びかけ、施設整備についても支援する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	公衆浴場が介護予防の拠点と位置づけられた場合、風呂っと杉並事業が介護予防事業に円滑に拡大できるよう、事業内容及び施設改修について関係部署と連携を図る。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		いきいきクラブ活動支援				整理番号	293		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	295	
係名		いきがい活動支援係				上位施策名				No		
予算事業名		いきいきクラブ		コード	25350		高齢者の社会参加と交流の拡大				30	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		33 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条、第13条2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱 (3) 杉並区いきいきクラブ連合会補助金交付要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区に88あるいきいきクラブの、社会奉仕活動・友愛活動・生きがい活動・健康づくり等のクラブ活動に対して各クラブの会員数を考慮し、助成をする。また、全クラブが加入している連合会に対しても運営費の助成をする。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 会員一人一人が積極的に社会参加や自立をし、高齢期をいきいきと生活できるようにする。また、連合会は各いきいきクラブの会員増加や社会活動等の推進を積極的に行っていく。					
	活動指標名(式)		(1) いきいきクラブ加入人員 (2) 地域福祉活動費受給クラブ割合 = 地域福祉活動費受給クラブ数 ÷ 全クラブ数 × 100				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) $\text{いきいきクラブ加入率} = \frac{\text{いきいきクラブ加入数}}{\text{60歳以上の人口}} \times 100$ (2) $\text{地域福祉活動回数(クラブあたり)} = \frac{\text{地域福祉総活動回数}}{\text{全クラブ数} \div 12\text{月}}$					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	9,025	8,224	8,500	7,920	8,000				
	活動指標(2)		%	99	99	99	99					
	成果指標(1)		%	7.8	6.8	7.0	6.6	6.2				
	成果指標(2)		回	13	17	18	17	20				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	33,385	31,745	33,060	32,480	32,025	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0	活動指標(2)について、平成17年度から地域福祉活動費を定例活動費に取り入れたため。			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.96	0.16	0.70	0.60	0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,720	1,439	6,370	5,460	4,550				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	42,105	33,184	39,430	37,940	36,575				
	単位あたりコスト ÷		円	4,665	4,035	4,639	4,790	4,572				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	3,379	3,199	3,401	3,346			3,393	
		特定財源計 +		千円	3,379	3,199	3,401	3,346			3,393	
差引:一般財源 -		千円	38,726	29,985	36,029	34,594	33,182					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	93.2	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	98.2	クラブ会員数の減少により、多少計画と誤差が生じた。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		若干数のクラブが社会奉仕活動を実施していないため、前年に引き続きすべてのクラブが社会奉仕活動を実施するようにする。また、積極的な社会奉仕活動の展開を図るため、補助金の見直しを行い、会員数に応じた助成額や、特出した活動を行うクラブに対しては、定例活動費のほかに活動に係る経費を補助する方法をとる。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和33年当初 高齢者人口29,907人に対し3クラブ 平成5年 高齢者人口95,172人に対し会員数12,071人(12%)クラブ数96 平成10年 高齢者人口107,118人に対し会員数11,606人(11%)クラブ数100 平成15年 高齢者人口118,129人に対し会員数8,224人(7%)クラブ数90 平成17年 高齢者人口122,037人に対し会員数7,597人(6%)クラブ数88
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	いきいきクラブ会員が高齢化しているため、入りづらい。また魅力的な活動が行われていない。
	今後の予測	65歳以上の高齢者人口(率)の予測:平成22年102,432人(19.35%)、平成27年111,724人(21.25%) (平成16年11月 杉並区基本計画の数値)
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区内全域にわたって設立されていくクラブの活動により、広範囲わたる高齢者の社会参加が行われるとともに、高齢者の生きがいを支援する役割を果たしている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: ・昨年開設したホームページや広報等を利用しPR活動を進めていく。 ・研修会、講演会を行い各クラブ指導者の育成を行う。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 助成対象活動の一部についても、各クラブとも会員費を徴収し活動している。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 地域福祉活動費を廃止し、その分を、特に積極的な活動を行うクラブへ助成する方法にしたが、定例活動費についても同じような方法を取り入れることを検討する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 現在は、老人福祉法で地方公共団体の支援が定められているため。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: リーダー研修を積極的に行うことにより、いきいきクラブ全体に補助金の性質について再認識してもらう。また、クラブ活動全般の質的向上を図る。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 クラブの活性化を図るための委員会を立ち上げ、会員数の増加や積極的な地域福祉クラブ活動などについて、現状を踏まえた上で、あり方を検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・クラブ会員の高齢化等のため後期高齢者中心のイメージが強い。 ・杉いき連のホームページに各クラブの活動内容や連合会の行事等について掲載し内容の充実を図る。 ・前年度、広報紙の一面にいきいきクラブについて掲載したところ、連合会が運営している杉いき連大学の受講者の増加などといった成果があったので、今年度についても広報紙において区民への周知を行う。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	クラブ会員の高齢化などにより、会員数の現状維持が減少が見込まれ、18年度については現行の予算のままで維持できる。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		シルバー人材センター支援				整理番号	294		枝番号			
担当部課名		保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1122		昨年度整理番号	296	
係名		管理係				上位施策名				No		
予算事業名		シルバー人材センター		コード	25550		高齢者の社会参加と交流の拡大				30	
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		54年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 高齢者等の雇用の安定等に関する法律第5条 (2) 杉並区シルバー人材センター補助金交付要綱 (3) 杉並区シルバー人材センター運転資金貸付要綱							
	社団法人		杉並区シルバー人材センター		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並区シルバー人材センターの円滑な事業運営のため、補助金の交付及び運転資金の貸付を行う。		シルバー人材センターの安定した事業運営を図る。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
		(1) 就業実人員数		(1) 延受託件数(月単位で実績のあった受託件数の累計)								
		(2) 月平均会員数(各月末会員数の和÷12月)		(2) 会員の就業率(就業実人員数÷月平均会員数)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	1,738	1,837	1,860	1,850	1,975	2,252	82.1		
	活動指標(2)		人	2,464	2,573	2,705	2,646	2,784	3,082	85.9		
	成果指標(1)		件	11,018	13,070	14,000	14,293	15,378	18,114	78.9		
	成果指標(2)		%	71	71	72	70	71	73	95.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	165,116	166,914	173,594	164,096	176,265	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 平成17年度に策定した「杉並区シルバー人材センター中長期計画」に基づき、指標の一部見直しを行った。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.61	0.30	0.60	0.50				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,633	5,486	2,730	5,460	4,550				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	168,749	172,400	176,324	169,556	180,815				
	単位あたりコスト ÷		円	97,094	93,849	94,798	91,652	91,552				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	20,060	20,060	20,060	19,382			19,382	
		特定財源計 +		千円	20,060	20,060	20,060	19,382			19,382	
差引:一般財源 -		千円	148,689	152,340	156,264	150,174	161,433					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	99.5	活動指標(2)の16年度達成率%	97.8	16年度予算執行率%	94.5	会員数、契約件数、就業実人員とも、前年度比でそれぞれ2.8%、3.6%、0.7%増と、15年度と比べると伸び率は低くなったものの、増加しており、着実に成果を上げている。さらに事業収入は、前年比7.2%増と大きく伸ばしている。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		説明会を延22回開催するなど、普及啓発活動による規模の拡大に努めた。また研修・講習による知識・技能の向上や、事務処理の効率化に取組み、その結果として、契約件数・契約金額が増加するとともに、お客様満足度調査において、昨年より高い評価が得られた。さらに東京都の補助事業である活性化推進事業によるホリトカー向け事業(パソコン教室)や地域との連携事業(杉並浴場組合等と連携した趣味の講座など)も実施する。17年度には向こう10年間の「中長期計画」を策定するとともに、新規事業として「自転車リサイクル事業」に着手する。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者人口(高齢化率):昭和54年 45,145人(8.57%) 平成17年6月 92,931人(18.11%)、シルバー人材センター会員数 昭和54年度 1,280人 平成16年度 2,646人
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	会員数の増加とともに、会員の就業に対する考え方も多種多様になってきている。そのため、シルバー人材センターの会員になってもなかなか自分の希望する仕事に就業することができないという苦情もある。また発注者から完成度の高い仕事求められるっており、引き続きスキルアップを図っていく必要がある。
	今後の予測	まもなく団塊の世代が定年を迎え、優れた知識・技能、そして多様な考え方をを持った高齢者が、地域に戻ってくる。会員の幅広い就業に対する要望に応えられるようホワイトカー向けをはじめとする就業機会の確保、事業開拓がより一層求められるとともに、公益法人として如何に地域貢献をしていくかが課題となる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:シルバー人材センターは、高齢者に就業の機会を提供することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりの面で大きく貢献している。「いきいき元気に生涯現役」を目標とする区として、その支援は重要な施策である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:シルバー人材センターが、今年度策定した「中長期計画」に定めたビジョン、基本指針、中期計画に基づいた着実な事業の推進を図り、会員数、就業者数、契約の件数・金額を増やす。
	(3) 受益者負担の見直し余地は 	理由または具体的内容:該当しない
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:会員数、就業者数、契約件数・金額の増を図り、単位あたりのコストを下げる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	理由:「いきいき元気に生涯現役」を実現するため、区とシルバーとは、生きがいづくりとしての就労機会の提供の分野で協働を進めている。 理由または具体的内容:「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」により、必要な援助等を行うことが、地方公共団体の責務として定められている。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 今後も法律に基づき、シルバー人材センターへの支援を継続し、高齢者の福祉の増進に向け、一層の協働を図る。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 シルバー人材センターは、17年度、課題であった今後の経営環境の変化を踏まえた「中長期計画」を策定した。今後は、この計画に基づき、幅広い就業機会の確保を図るとともに、公益法人として地域高齢者へのサービス提供なども含め、広く地域貢献を行う人材センターとして活動できるよう、区としても引き続き安定した支援を行う必要である。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 中長期計画に基づき改革をすすめるが、会員の拡大には、団塊の世代を取り込むために、ホワイトカー向けの就業機会の開拓・拡大が急務である。また公共事業への依存度を低くするためにも、完成度の高い仕事の履行による民間顧客の確保に努める必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 生涯現役として、シルバー人材センターに就業機会を求める高齢者は、ますます増加するものと思われる。人材センターは、中長期計画に基づき公益性と収益性のバランスの取れた経営等、改革に努めるが、厳しい社会経済情勢の中での事業運営であり、引き続き前年度程度の補助金が必要である。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者いきいき・はつらつ事業				整理番号	295		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	297	
係名		いきがい活動支援係				上位施策名			No			
予算事業名		いきがい活動支援		コード	25650		高齢者の社会参加と交流の拡大			30		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例 (3)							
	50歳以上の区民		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者が地域の中で、健康でいきいきと暮らしていけるようにする。									
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 教室等参加者の合計数		(1) 65歳以上で生きがいを感じている高齢者の割合 (16年度は、杉並区高齢者実態調査報告書)										
(2)		(2)										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	105	85	400	1,362	1,500	2,000	68.1		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	77.50	79.80	78.00	78.60	80.00	80.00	98.3		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	376	224	3,632	3,511	473	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 平成16年10月からいきいき・はつらつ事業推進会議にかえて、高齢者活動支援センターや敬老会館での事業を地域のNPO法人等と協働で開催した。			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.99	1.45	0.85	0.35	0.40				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,992	13,041	7,735	3,185	3,640				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	9,368	13,265	11,367	6,696	4,113				
	単位あたりコスト ÷		円	89,219	156,059	28,418	4,916	2,742				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	282	168	205	1,780			160	
		特定財源計 +		千円	282	168	205	1,780			160	
差引:一般財源 -		千円	9,086	13,097	11,162	4,916	3,953					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	340.5	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	96.7	16年度は、敬老会館でのパソコン講座に使用するパソコン購入費を含む				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度は、高齢者のいきがい活動推進事業を拡大するため、高齢者活動支援センター、敬老会館で地域の団体・NPO法人と協働で杉の樹ホール事業(6回 316人)、敬老会館モデル館事業(3館 112回 1,046人)を新規に実施した。 17年度からは、地域で活動するNPO・団体で構成される「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」により、相互の連絡・ネットワークづくりを図り、高齢者に対する自主的な活動を支援する。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成17年17.67%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	定年後の過ごし方として、今までの経験や技術を活かして地域で活動をしたい、仲間がほしいなど社会参加への希求がある。
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成17年 92,707人 17.67% 平成22年 102,432人 19.35% 高齢社会が進む中、団塊の世代が定年を迎え、地域社会の人口構成が急速に変化する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:高齢者活動支援センターや敬老会館での事業に多数の参加者があり、参加者の中から地域の課題等について話し合う機運が生まれた。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:高齢者に関心あるテーマで開催するため、事業の運営主体を地域のNPO法人や団体にする。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:事業の実施は、ある程度受講者からの受講料で運営する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:受益者負担の導入と、魅力ある事業を実施することで、高齢者の参加者が増えれば経費が削減される。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 高齢者活動支援センター杉の樹ホール事業については、NPO法人や地域の団体の参加、協力を得て実施する。敬老会館事業については、区は会場を提供し、事業の企画・運営はNPO法人に任せて実施する。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区は会場の確保などの後方支援を行い、NPO法人等が創意を活かした事業を実施する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」において、高齢者活動支援センター、敬老会館事業も含めた高齢者事業についてあり方、内容、方法等を検証する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 社会参加・地域参加を求めている層への周知と魅力ある事業の展開が必要であり、今年度立ち上がる「高齢者いきいき事業協働推進連絡会」で事業のあり方等の検討を行う。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 敬老会館モデル館事業について検証を行うが、参加者の多い事業について、敬老会館あり方検討会の結果も踏まえて、18年度も継続して実施する予定である。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者のための起業・就労支援				整理番号	296		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	298	
係名		いきがい活動支援係				上位施策名			No			
予算事業名		いきがい活動支援		コード	25650		高齢者の社会参加と交流の拡大			30		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		13年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条							
	55歳以上の区民		(2)									
	55歳以上の区民		(3)									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）									
就業相談や就業情報の提供を行うとともに、起業についての心構えや実務的な知識を得るための講座をNPO法人に委託して開催し、高齢者の就労を支援する。		働く意欲のある高齢者が、就労することで生きがいある生活を送るとともに、社会参加することによって地域の活性化を実現していく。										
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
(1) 起業・就労支援講座参加者数		(1) 講座への参加者数										
(2)		(2)										
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	21	0	40	27	50	60	45.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	21	0	40	27	50	60	45.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	94	0	1,130	462	446	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 15年度は未実施			
	(内)委託費		千円			1,130	462	446				
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.35	0.25	0.25	0.30	0.30				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,179	2,249	2,275	2,730	2,730				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	3,273	2,249	3,405	3,192	3,176				
	単位あたりコスト ÷		円	155,857		85,125	118,222	63,520				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円			565	231			223	
		特定財源計 +		千円	0	0	565	231			223	
差引:一般財源 -		千円	3,273	2,249	2,840	2,961	2,953					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	67.5	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	40.9	16年度から、起業支援に加えて、高齢者のための就労支援事業を知識のあるNPO法人に委託して開始した。就労支援事業については、当初、定期的な就業相談を予定していたが、条件が整っていないため、就職情報を提供する講座に変更して実施。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度は、定期的に個別な就業相談は行わないため、就業支援事業に関する予算が低減されている。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	働く意欲のある高齢者の割合 平成13年度 22.3% 平成16年度 21.5%
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	これまでの経験や技術を活かした仕事や起業をしたいという要望がある。また、具体的な就職斡旋への要望も寄せられている。
	今後の予測	年金の支給繰り上げ、生きがい対策のために働く意欲のある高齢者が増える一方、高齢者の雇用環境は厳しい状況が続く。こうした中、高齢者の意識の変化などにより起業や派遣等多様な働き方が求められる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:就業によって高齢者の社会参加が実現する。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:専門知識を有するNPO法人に事業委託することで、的確で、有効に事業が執行できる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:講座内容の充実により、受益者負担はある程度可能である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:講座のレベルを保つため、計上している経費は必要である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:高齢者の就労に知識を有するNPO法人に事業委託して実施している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 専門NPO法人に委託して、就業相談や地域の多様な就業情報の提供など、就業に結びつくような実践的な研修を行う必要がある。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 委託NPO法人の事業内容として、就業・起業に関する個別相談や情報提供、起業家同士の交流会など実務のサポートも行っていく。今年度中に委託先のNPO法人と無料職業紹介が可能か検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 起業・就業に関する講座、就業相談は、区の他の所管でも実施しているが、実際に就業に結びついていない。高齢者の就業事業に関して、都や他の所管とも整理・統合する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	16年度に実施した講座の傾向を参考に、高齢者に密着した就職情報の提供、エントリーシートや履歴書の書き方、面接の受け方など直接就労に役立つ講座内容とする。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		社会貢献スタッフ派遣事業				整理番号	297		枝番号			
担当部課名 保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	299			
係名 いきがい活動支援係					上位施策名				No			
予算事業名 いきがい活動支援					コード	25650		高齢者の社会参加と交流の拡大				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 老人福祉法第4条							
	60歳以上の高齢者、区内の高齢者団体・地域の自主グループ				(2) 杉並区高齢者人材バンク設置要綱							
					(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 社会貢献意欲のある高齢者に技術・技能等を取得する講座を開催し、一定のレベルに達した受講者を、派遣の要望のある地域のグループ等に派遣する。					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 知識・技術、経験を持ち地域で社会貢献する意欲のある高齢者を、各種団体・グループ等に紹介することで、高齢者の生きがい支援を図り、地域社会の担い手となるようにする。							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 人材バンク登録者数					(1) 人材紹介率 = 紹介件数 ÷ 登録者数 × 100							
(2) 社会貢献スタッフ派遣事業受講者数					(2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	63	65	80	65	80	100	65.0		
	活動指標(2)		人	/	/	30	36	30	30	120.0		
	成果指標(1)		%	46	5	25	5	30	50	10.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	31	0	701	524	131	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 16年度までの高齢者人材バンクから改名(社会貢献スタッフ派遣事業講座は平成16年度から実施)			
	(内)委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.30	0.55	0.55	0.40	0.30				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,725	4,947	5,005	3,640	2,730				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,756	4,947	5,706	4,164	2,861				
	単位あたりコスト ÷		円	43,746	76,108	71,325	64,062	35,763				
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0	
		国・都等からの支出金		千円	15	0	350	230			65	
		特定財源計 +		千円	15	0	350	230			65	
差引:一般財源 -		千円	2,741	4,947	5,356	3,934	2,796					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	81.3	活動指標(2)の16年度達成率%	120.0	16年度予算執行率%	74.8	16年度は、地域で自主的に活動しているグループを紹介するリーフレットを作成した。				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		社会貢献意欲を持つ高齢者が活動に必要な知識・技能を習得する講座を実施した。リーフレット作成費用は、17年度は予算計上していない。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	NPO・ボランティア活動をしてみたい高齢者の割合 平成13年度 11.3% 平成16年度 16.6%
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	活動意欲のある高齢者と派遣先である団体等との間に種目などのミスマッチがある。
	今後の予測	団塊の世代が退職を迎え、地域に戻ってくるにあたって、技能や経験等を活かした地域貢献への要望が高まる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:高齢者の技能・経験や社会貢献意欲を活用し、地域での活動をとおして社会参加を促している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:社会貢献スタッフ派遣事業の講習を活動団体に依頼して行うことで、受講生をその団体に取り込むことができ活動の場が広がる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:社会貢献スタッフとして講師の資格を得ることができるため、ある程度受講者から受講料を徴収する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:受講者からの受講料によって、事業にかかる経費を削減できる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:地域での活動団体に依頼して、活動に必要な知識、技能・技術を習得するための講座を開催している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他] (具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 地域で活動している団体に、活動に必要な知識や技術・技能等を習得するための講座を依頼し、受講料の一部を受講者が負担することによって、受講者自身のやる気を高めることができるとともに、団体が受講者に活動の場を提供する。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 社会貢献意欲のある高齢者に技術・技能等を取得する講座を開催し、一定のレベルに達した受講者を、社会貢献スタッフとして登録し、派遣の要望のある地域のグループ等に派遣する。そのため、社会貢献スタッフ養成とこれまでの高齢者人材バンクを連動させ、社会貢献スタッフ派遣事業として、今後更に派遣先の拡大を図るなどして充実する必要がある。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 講師養成事業の整備・充実を行い、人材派遣先を発掘する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成16年度から、高齢者人材バンクを社会貢献スタッフ派遣事業と改め、講師の養成を行っているが、今後も派遣希望のある種目の講師を養成していく。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名			長寿祝い品贈呈			整理番号	307		枝番号	1	
担当部課名			保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		
係名			いきがい活動支援係			上位施策名			No		
予算事業名			敬老事業		コード	30150		高年齢者の社会参加と交流の拡大			
事務事業の概要	事業開始年度			●昭和 ○平成		50年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条、第5条					
	100歳以上の区民			(2)							
	100歳以上の区民			(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			100歳以上の高齢者を対象に長寿の祝いとして、区が送付したカタログから該当者の希望する品を誕生月に送付する。また、新たに100歳に到達した者のうち希望者には、区長、区幹部職員が自宅を訪問して祝い品を贈呈する。								
活動指標名(式)			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 長寿を祝うことで、高齢者が多年にわたり社会の進展に寄与してきた者として敬愛され、長生きをしてよかったと感じられるようにする。								
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標			(1) 区全人口に占める100歳以上の高齢者の割合 (2)								
結果指標名(式)			(1) 祝い品贈呈者数 (2) 訪問希望者数								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	117	171	134	168	196	210	80.0	
	活動指標(2)		人	13	16	20	4	10	15	26.7	
	成果指標(1)		%	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	100.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	775	928	1,715	934	1,715	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	0.30	0.32	0.40	0.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,633	2,698	2,912	3,640	4,550			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	4,408	3,626	4,627	4,574	6,265			
	単位あたりコスト ÷		円	37,675	21,205	34,530	27,226	31,964			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	4,408	3,626	4,627	4,574	6,265				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	125.4	活動指標(2)の16年度達成率%	20.0	16年度予算執行率%	54.5	事業の対象者が100歳以上の高齢者であるため、死亡等により祝い品を贈呈できない事例がある。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成17年17.67%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	お礼や喜びの手紙等が寄せられている反面、祝いの品に対しての要望もあった。
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成17年 92,707人 17.67% 平成22年 102,432人 19.35%
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:身近な自治体である区が100歳以上の高齢者へ敬老の気持ちを表わすことで、周囲へも高齢者に対する敬愛の気持ちが醸成され、高齢者の孤独感の解消に役立つ。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:長寿の祝いの気持ちを表わす形として、品物を贈る以外の方法があるか検討する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:慶事の祝いに受益者負担はなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:祝い品のコストを下げる。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由:区が自ら敬老の気持ちを表明することに事業の意義がある。 理由または具体的内容:
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 長寿への敬意を表わす有効な方法が、祝い品を贈呈する以外にあるかを、長寿祝い品選定委員会において検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 定着している事業なので、新しい形式で長寿の気持ちを表わすことについては、幅広い議論をとおして、区民の理解を得る必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	祝い品を贈呈して敬老の意を表明するという事業の形が定着しているので、早急に変更することは困難である。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		75歳・81歳(半寿)顕彰				整理番号	307		枝番号	2	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先電話番号	2143		昨年度整理番号	312-1	
係名		いきがい活動支援係			上位施策名				No		
予算事業名		敬老事業		コード	30150	高齢者の社会参加と交流の拡大				30	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条、第5条 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例 (3)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		75歳・81歳到達者		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)						
	活動指標名(式)		(1) 75歳対象者数 (2) 81歳(半寿)対象者数		祝い品を受け取った対象者(75歳、81歳)が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにする。また、地元の子どもからの祝い状を受け取ることで、孤立しがちな高齢者の孤独感の解消とする。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 区全人口に占める75歳以上のの高齢者の割合 (2)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	4,171	4,300	4,246	4,400	4,500	94.4		
	活動指標(2)		人	2,602	2,573	2,800	2,558	2,900	3,000	85.3	
	成果指標(1)		%	7.55	7.74	8.04	8.04	8.34	9.00	89.3	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,744	10,350	12,763	9,495	13,131	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 75歳敬老祝い品は、平成15年度から実施		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.00	0.52	0.60	0.45	0.50			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,083	4,677	5,460	4,095	4,550			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	13,827	15,027	18,223	13,590	17,681			
	単位あたりコスト ÷		円		3,603	4,238	3,201	4,018			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	14	29	21	20			20
		特定財源計 +		千円	14	29	21	20			20
差引:一般財源 -		千円	13,813	14,998	18,202	13,570	17,661				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	98.7	活動指標(2)の16年度達成率%	91.4	16年度予算執行率%	74.4	消耗品の執行残、祝い品の変更による契約金額の低減			
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		お祝いカード作成協力実績 75園 2,863枚 地域交流会参加実績 24ヶ所 994人									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42% 平成元年11.44% 平成17年17.67%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	お礼や喜びの手紙等が寄せられている反面、祝いの品に対しての要望もあった。また、子どもからの半寿のお祝いカードについては、感謝の手紙が多数寄せられた。
	今後の予測	区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 平成17年 92,707人 17.67% 平成22年 102,432人 19.35%
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しているなか、子どもとのふれあいの機会が図られる。また、敬老祝い品の贈呈を受けることで、自分が周囲から大切に思われているという意識が醸成される。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:今以上に私立の幼稚園・保育園にも積極的に協力を呼びかけ、地域での高齢者と子どもたちとの交流の機会の拡大を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:長寿の祝いという事業から受益者負担にはなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:祝い品の贈呈以外で敬老の気持ちを表明する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:私立幼稚園・保育園、区立保育園・児童館に81歳(半寿)該当者へお祝いカード作成の協力を依頼している。また、敬老会館や保育園、高齢者施設などで高齢者と子どもたちとの交流会を開催している。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区の担当課が子どもと高齢者との仲介をし、事業の場所、参加園等を拡大する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 敬老の気持ちを表わす方法として、祝い品を贈呈する以外の方法を、高齢者関係団体等の意見も聞いて検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 敬老祝い品の贈呈は、定着している事業である。敬老祝い品を贈呈する以外の方法に改めるとすると、祝い品の贈呈が75歳・81歳と限定されているので、切り変わりの時期に該当する対象者が祝い品の贈呈を受けられないことになり、対象者の理解を得る必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	祝い品を贈呈して敬老の意を表明するという事業の形が定着しているので、早急に変更することは困難である。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会・半寿(81歳)式典				整理番号	307		枝番号	3	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403	連絡先電話番号	2144		昨年度整理番号	312	
係名		いきがい活動支援係			上位施策名				No		
予算事業名		敬老事業		コード	30150	高齢者の社会参加と交流の拡大				30	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		25年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条、第5条、第13条第1項						
	75歳以上の高齢者		(2)								
	75歳以上の高齢者		(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 敬老会式典と併せて、半寿(81歳)の顕彰式典を開催する。									
活動指標名(式)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 敬老会を開催し、長寿を祝い、敬老の意を表することにより、 高齢者自身が尊重されているという意識の醸成が図られるとともに、 健康の増進の一助となる。									
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 来場者 (2)									
成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 来場率 (来場者 ÷ 対象者数) × 100 (2)									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	3,466	3,416	3,870	2,910	3,270			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	8.5	8.2	8.7	6.7	7.1			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,614	7,192	7,241	7,262	6,351	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.80	1.22	0.90	0.80	0.80			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	7,266	10,973	8,190	7,280	7,280			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	10,880	18,165	15,431	14,542	13,631			
	単位あたりコスト ÷		円	3,139	5,318	3,987	4,997	4,169			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	1,755	3,904	3,651	3,631			3,154
		特定財源計 +		千円	1,755	3,904	3,651	3,631			3,154
差引:一般財源 -		千円	9,125	14,261	11,780	10,911	10,477				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	75.2	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	100.3	ほぼ計画どおり予算を執行した。ただし、敬老会来場者及び出演団体に提供する飲料水に不足が生じた為、必要経費を予算流用で計上し執行した。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		敬老会招待地域の保育園・幼稚園に参加協力を依頼し、半寿を祝う会を実施した。 また、セッション杉並1か所での開催が3年目を迎え来場者数の予測が可能となった為、17年度は開催回数を10回から8回に縮小し実施する。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	敬老会を開始した当時は戦後で娯楽の少ない時代であったが、現在は高齢者が日常的に趣味や娯楽を楽しむようになった。 高齢者(75歳以上)の人口(総人口に対する比率) 昭和27年 2,993人(0.8%) 平成17年 43,752人(8.3%)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	日頃外出する機会が少ないので敬老会を楽しみにしている。半寿を祝う会では子ども達との交流が心を癒してくれる。
	今後の予測	敬老会の対象となる高齢者(75歳以上)の増加
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 高齢者のための敬老イベントとして代表的な事業であり、区民の期待や関心が高く、高齢者のひきこもりの防止や交流の拡大に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 会場を公会堂に移すことで来場者の足の便が良くなり参加率が上がると予想されるが、会場使用料のコスト増を回数の減により押さえる必要がある。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 敬老事業であり、受益者負担になじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 招待状の郵送料などは開催に必要な最低限の経費のみを見積もっているため、削減の余地はないが、敬老会の開催日数の縮減や演芸等を見直すことによって、コスト削減の余地はある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 杉並区いきいきクラブ連合会の協力を得て、半寿顕彰式典列席者を推薦してもらうとともに、いきいきクラブ会員で組織する敬老会企画委員会を開催している。また区内保育園・幼稚園の参加協力により「半寿を祝う会」を実施している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 18年度敬老会は開催会場を杉並公会堂に変更する為、開催方法等について引続き敬老会企画委員会を設置し検討する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 18年度敬老会は公会堂開設記念を視野に入れた企画を予定しているが、今後は演芸部門を見直すなど、高齢者主体の開催方法についても検討する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 高齢者の娯楽等に対する価値観が多様化している。 民間団体との協働実施を含め検討する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	敬老会開催会場を杉並公会堂に変更することで収容人数が倍増する為、開催回数を4回(2日間)に縮減する。また、公会堂の開設記念を視野に入れた企画内容とする。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター運営・管理				整理番号	308		枝番号			
担当部課		保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1125		昨年度整理番号	313	
係名 施設担当					上位施策名					No		
予算事業名 高齢者活動支援センター運営 高齢者活動支援センター維持管理					コード	38350 29550		高齢者の社会参加と交流の拡大				30
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成				58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 老人福祉法第15条、第20条の2 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例 (3) 老人福祉センター設置運営要綱(国)							
	60歳以上の区民				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 高齢者の社会参加を支援するため、利用者が安全で快適な時間が過ごせるよう、施設設備の維持管理を行うとともに、施設内の講座室や杉の樹ホール貸出し等を行う。				多くの高齢者の施設利用によって、交流が活発になり、高齢者の社会参加の機会が拡充される。 高齢者の自主的団体活動に対する支援によって、新たないきがづくりや仲間づくりが促進され、総体的に元気高齢者が増加する。							
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 年間利用者数				(1) センター利用率 年間利用者数 ÷ (60歳以上区民数 × 1回 × 12月)								
(2)				(2) (月1回の利用を標準利用回数とした)								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	71,350	77,278		76,115					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	6	7		6					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	88,833	49,549	64,615	46,802	61,402		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円			0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.20	0.52	0.20	2.71	2.20 1.20				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,900	4,677	1,820	24,661	0:00				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	3,456				
	総事業費 + +		千円	99,733	54,226	66,435	71,463	84,878				
	単位あたりコスト ÷		円	1,398	702		939					
	財源	受益者負担分	千円			0	0	0				
		国・都等からの支出金	千円			0	0	0				
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
		差引:一般財源 -	千円	99,733	54,226	66,435	71,463	84,878				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%		活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	72.4				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	老人福祉センターとして開館してから22年が経過し、施設及び設備は老朽化が進行している。平成15年4月より高齢者団体の自主的な活動の拠点として、転換を図った。施設における事業は、NPO法人に委託し、施設管理は、併設の地域区民センターとの総合管理委託化を図った。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	施設の老朽化に伴う改修等の要望
	今後の予測	団塊の世代を含めた前期高齢者の利用促進に向けた取り組みが必要である。老朽化の進行によって、施設全体の大規模改修が必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 超高齢者社会の中で、今まで以上に高齢者のいきがいづくり、仲間づくりの場として、大きな期待が寄せられている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 実施主体の変更(具体的内容)	理由： 施設の老朽化に伴う修繕経費等の増。 理由または具体的内容： 指定管理者を視野に入れた新たな協働による施設運営。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 開館当初から無料施設として広く定着していること、老朽化が進行している現状から、新たに受益者負担を求めることは困難である。施設大規模改修時、もしくは、指定管理者を含めた新たな施設運営への転換時に改めて検討する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容： コストは施設維持管理に関する経費であり、施設の老朽化が進行しつつある状況から経費削減は困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 指定管理者(具体的内容)	理由： 理由または具体的内容： 指定管理者を含めた新たな施設運営のあり方について検討中である。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 指定管理者を含めた新たな施設運営のあり方について検討中である。

今後の事業のあり方(中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 指定管理者を視野に入れた新たな施設運営への転換を前提に、高齢者のいきがい活動・社会参加を支援するための拠点として、今後の事業展開に合わせた施設整備のあり方について検討を行い、施設の有効活用を図っていく。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 複合施設であることから、設置目的が異なる施設の総合的な管理運営が条件となる。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 施設の老朽化に伴う修繕

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者ゲートボール場				整理番号	310		枝番号		
担当部課名 保健福祉部 高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1124		昨年度整理番号	315		
係名 施設担当		上位施策名						No			
予算事業名 高齢者活動支援センター運営		コード	29550		高齢者の社会参加と交流の拡大				30		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		58 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 高齢者ゲートボール場の適切な管理及び高齢者ゲートボール団体の登録、使用抽選等の運営を行う。		(2)								
	活動指標名(式)		(3)								
		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) スポーツ活動(ゲートボール)を通して、高齢者の社会参加の機会が拡充されることにより、元気高齢者が増加する。									
		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 登録団体数		(1) 週1回以上活動できた団体数 ÷ 登録団体数 × 100									
(2)		(2)									
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%			
				計画	実績						
指標	活動指標(1)	団体	26	24	24	24	24				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	366	785	294	267	287	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)			
	(内)委託費	千円	260	268	268	262	260				
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.03	0.03	0.03	0.21	0.60				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	272	270	273	1,911		5,460		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 + +	千円	638	1,055	567	2,178	5,747				
	単位あたりコスト ÷	円	24,538	43,958	23,625	90,750	239,458				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	638	1,055	567	2,178	5,747				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	100.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	90.8				
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)											

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にある。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	現在、3面しかないため、希望の日時が取れない、などの意見がある。		
	今後の予測	登録団体の活動状況等を勘案し、施設整備等を進めていく。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:高齢者の健康増進に効果があり、利用者相互の交流・親睦に役立っている。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容:コート数に対して、利用希望は限界に達している。 理由または具体的内容:		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 高齢者の健康増進のための事業であり、他の高齢者を対象とした施設とのバランスから、無料のままとしたほうがよい。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在の経費は、ゲートボール場の清掃・消耗品・水道料等の必要最低限の経費であり、これ以上の削減はできない。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 登録団体連合組織への施設維持管理委託		
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 登録団体の連合組織化による完全自主管理に向けた検討。		

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 登録団体の連合組織化による、完全自主管理化
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 連合体となるまでの組織力に欠ける。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 登録団体の活動状況等を勘案し、施設整備を進めていく。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		高齢者活動支援センター事業・敬老会館事業			整理番号	311		枝番号			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143			
係名		いきがい活動支援係			上位施策名	No					
予算事業名		高齢者活動支援センター運営 敬老会館運営		コード	29550 29750		高年齢者の社会参加と交流の拡大	昨年度整理番号	315-2		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		58年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条						
	60歳以上の区民		(2) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		(3)								
	年間をとおして、教養、健康、スポーツなどの講座を実施する「杉の樹大学」、高齢者の関心が高いテーマで開催する「公開講座」等を地域で活動するNPO法人に事業委託して実施する。また、9月の敬老月間に敬老会館で活動しているグループの発表会を開催する。		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 高齢者が地域での学習活動、グループ活動をとおり、生きがいを高め、地域で仲間をつくる。また、それぞれの経験と知識を活かして、積極的に社会参加する。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 杉の樹大学延受講者数		(1) 杉の樹大学OB連合会入会率									
(2) 敬老会館事業参加者数		(2) 敬老月間敬老会館事業参加率									
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	42	1,846	2,000	1,449	1,800	2,000	72.5	
	活動指標(2)		人	/	/	1,500	1,017	1,200	1,500	67.8	
	成果指標(1)		%	17.8	50.0	50.0	28.0	40.0	40.0	70.0	
	成果指標(2)		%	/	/	5.56	3.74	4.29	6.67	56.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,558	3,279	4,028	3,932	3,829	特記事項 <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 敬老会館事業は、平成16年度から実施。		
	(内)委託費		千円	817	3,229	3,961	3,875	3,761			
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.10	0.40	0.40	0.37	0.40			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	9,991	3,598	3,640	3,367	3,640			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	11,549	6,877	7,668	7,299	7,469			
	単位あたりコスト ÷		円	274,976	3,725	3,834	5,037	4,149			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	0	1,614	1,980	1,980			1,880
		特定財源計 +		千円	0	1,614	1,980	1,980			1,880
差引:一般財源 -		千円	11,549	5,263	5,688	5,319	5,589				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	72.5	活動指標(2)の16年度達成率%	67.8	16年度予算執行率%	97.6				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成15年度からNPO法人杉の樹カレッジに杉の樹大学等を事業委託し、高齢者の要望にそった学習機会の提供につとめている。今年度から、杉の樹大学については入学希望者数が多数のため50人の定員を55人に増やして実施する。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	60歳以上の区内高齢者人口の推移 昭和58年 13.69% 71,182人 平成17年 23.38% 122,717人		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者の学習機会や場の拡充・充実について期待が寄せられている。		
	今後の予測	団塊の世代が定年を迎え、今後地域社会の人口構成が急激に変化する。地域に戻ってくる団塊の世代も含め、高齢者の生きがいを高める活動・学習などの参加の場や機会の拡大が求められる。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 学習活動や趣味の活動などをとおして、仲間づくりが進み、それぞれの能力を活かした自主グループが地域の中で誕生するなど高齢者の社会参加に貢献している。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 杉の樹大学卒業生を敬老会館等の地域での事業に積極的に呼び込むことで、事業の活性化、参加者の拡大が図れる。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 杉の樹大学学生からの授業料の徴収を検討する。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容)	理由または具体的内容: 事業委託で実施している杉の樹大学の内容を更に充実させ、学生から学費を徴収することで、経費の削減が図れる。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 杉の樹大学・公開講座等高齢者の学習機会の提供等事業運営をNPO法人に委託して実施している。		
	協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 契約の相手先であるNPO法人が、学生から授業料を徴収するなどして自主財源の確保につとめ、新規の活動を進める。		

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 地域で活動しているNPO法人・団体、杉の樹大学卒業生等も杉の樹大学の企画に参加できるようにし、高齢者の社会参加を促すと同時に、高齢者の多様な要望に応えられるようにする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 団塊の世代が入学を希望する内容になるよう検討し、また、社会参加するにあたって、実践的な授業内容にする必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	予算規模は、17年度のままとするが、4年目を迎えるNPO法人に、今後受講料のとれる自主事業を企画するよう指導する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		敬老会館施設維持管理及び運営委託				整理番号	312		枝番号		
担当部課名 保健福祉部高齢者施策課		コード	091401		連絡先電話番号	1125		昨年度整理番号	316		
係名 施設担当		上位施策名						No			
予算事業名 敬老会館維持管理		コード	38450		高齢者の社会参加と交流の拡大				30		
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		38年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 老人福祉法第4条 (2) 老人憩の家の設置運営について (3) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館条例								
	原則として60歳以上の区民及び60歳以上の区民が8割以上の		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 高齢者の社会参加の拡充に向けて利用者が安全で快適な時間を過ごせるよう、諸室の貸出しや浴室利用の管理を行うとともに、施設全体の維持管理等を行う。		団塊の世代を含めた幅広い年齢層の高齢者が気軽に利用できる憩いの場であり、地域住民や子ども、高齢者相互の交流が活発である。 書道・体操・舞踊などの高齢者の自主的な団体活動、ITなどの生涯学習、地域貢献活動、健康増進・介護予防活動などに高齢者が積極的に取り組み活動する拠点となる。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 年間延利用者数		(1) 60歳以上区民の会館利用率 = 年間延利用者数 ÷ (60歳以上の区民人口 × 2回 × 12月) × 100 月2回を標準利用回数とする									
(2) 利用団体数(高齢者自主団体)		(2) 敬老会館団体用諸室平均稼働率 = 実際の利用数 ÷ 利用可能回数									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%
			計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	260,563	269,806	280,000	278,949	298,000	336,500	82.9	
	活動指標(2)		団体	470	501	521	560	592	656	85.4	
	成果指標(1)		%	9.3	9.5	9.6	9.6	10.1	11.0	87.0	
	成果指標(2)		%	28.7	31.2	40.0	39.0	40.2	42.7	91.3	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	77,574	83,041	108,557	101,570	140,132	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 受付等業務委託館 16年度 17年度 6館 12館		
	(内)委託費		千円	23,454	41,531	47,403	44,796	80,539			
	職員数(常勤 非常勤)		人	20.03 48.00	18.00 45.00	15.90 40.00	17.56 40.00	13.40 32.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	181,932	161,892	144,690	159,796	121,940		
		非常勤職員分		千円	140,880	124,155	115,200	115,200	92,160		
	総事業費 + +		千円	400,386	369,088	368,447	376,566	354,232			
	単位あたりコスト ÷		円	1,537	1,368	1,316	1,350	1,189			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	400,386	369,088	368,447	376,566	354,232				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	99.6	活動指標(2)の16年度達成率%	107.5	16年度予算執行率%	93.6	16年度は敬老会館利用者数、利用団体にも増加が見られた。これは、各館ともに利用者拡大の組織目標に取り組んだ成果である。また、利用団体の抽選会方式も定着し、各館とも高齢者の自主的活動が増えた。施設管理面では、専門業者を使わないよう施設修繕に関する研修を行い、清掃なども積極的に職員で対応した結果、執行率は93.6%に抑えられた。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		スマートすぎなみ計画に基づく取り組みにより、受付等業務委託館数は、17年度12館に倍増した。 17年度3月に設置した外部委員による「新たな時代の敬老会館あり方検討会」(以下「あり方検討会」という。)の報告に基づき、18年度以降の管理運営のあり方を含め、超高齢社会における新たな敬老会館のあり方全体について、詳細部分の検討を行う。									

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区内の高齢者人口(65歳以上)平成元年度 59,396人 平成17年92,707人 敬老会館利用高齢者活動グループ数(延活動回数) 平成元年度 1,991団体 平成17年度 6,744団体
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	生活様式の変化や価値観の多様化などにより、施設構造・施設設備自体が現代社会にはそぐわないなどの意見が多い。こうしたことが新たな利用者拡大につながらない要因の一つとなっている。
	今後の予測	団塊の世代を含め前期高齢者の利用促進に向けた取り組みが必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 超高齢社会の中で、今まで以上に元気高齢者の活動の場としての役割が期待されている。また一部の虚弱高齢者をも対象とした介護予防の地域の拠点としての役割も新たにクローズアップされてきている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 介護予防の拠点としての活用を含め、「あり方検討会」の報告に基づき、新たな利用者の拡大に向けた取り組み等について検討する。
	ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 厚生省通知「老人憩いの家の設置運営について」により、施設の利用は原則として無料と定められているが、現在試行中のモデル事業の中では受講料等について一部受益者負担としている。この検証結果を踏まえ、「あり方検討会」の中で改めて検討する。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 引き続き、スマートすぎなみ計画に基づく取り組みを行うが、18年度以降の管理運営委託のあり方については、指定管理者を含めて「あり方検討会」の報告を踏まえ、改めて検討する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 現行は、民間企業とNPO法人であるが、18年度以降の協働のあり方については、指定管理者を含めて「あり方検討会」の報告を踏まえ、改めて検討する。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 指定管理者(具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 「あり方検討会」の報告に基づき、敬老会館のあり方の抜本的な見直しを行い、指定管理者の扱いを含め、協働による管理運営のあり方全体について検討する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「あり方検討会」の報告に基づき、敬老会館全体のあり方について抜本的見直しを行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 引き続き、スマートすぎなみ計画に基づく取り組みを行う。これにより委託料等について予算増となることもあるが、当然人件費が減となることから、それなりの効果は見込める。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		三療サービス			整理番号	314		枝番号		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		コード	091403		連絡先電話番号	2143		
係名		いきがい活動支援係			上位施策名				No	
予算事業名		健康事業		コード	2950		高年齢者の社会参加と交流の拡大	30		
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		48年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例 (2) 杉並区三療サービス事業実施要綱 (3) 杉並区立高齢者活動支援センター三療サービス事業実施要綱					
	60歳以上の区民		杉並区高齢者三療サービス連絡協議会		事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 利用者が、三療サービスを受けることを通して健康が維持できる。また、視覚障害者が就業することによって自立支援することができる。					
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		敬老会館（32館）及び高齢者活動支援センターにおいて、マッサージ・はりを行う三療サービスを「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。								
活動指標名(式)		(1) 三療サービス敬老会館利用者数 (2) 三療サービス高齢者活動支援センター利用者数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 利用率 = 利用者数 / 60歳以上の区民 × 100 (2)					
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		人	4,205	4,147	4,320	4,165	4,705		
	活動指標(2)		人	2,068	2,460	2,448	2,720	2,754		
	成果指標(1)		%	5.3	5.5	5.6	5.7	6.1		
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	11,593	11,677	12,155	11,842	12,983	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)委託費		千円	10,037	10,270	10,314	10,313	11,091		
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.20	0.32	0.50	0.50	0.50		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,817	2,878	4,550	4,550	4,550		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	13,410	14,555	16,705	16,392	17,533		
	単位あたりコスト ÷		円	3,189	3,510	3,867	3,936	3,726		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円	3,379	5,515	5,515	0		5,937
		特定財源計 +		千円	3,379	5,515	5,515	0		5,937
差引:一般財源 -		千円	10,031	9,040	11,190	16,392	11,596			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	96.4	活動指標(2)の16年度達成率%	111.1	16年度予算執行率%	97.4	敬老会館職員が布団の乾燥等を行ったので、その分布団の寿命を伸ばすことができたが、それも限界に近い。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・平成16年度から、阿佐谷北敬老会館では健康事業の一つとして毎週水曜日に行うことにしたが、一定の効果があつたので今年度も引き続き毎週水曜日に三療サービスを実施することとする。 ・平成17年度は、三療サービスを更に充実させるために介護予防の地域支えあい事業等との連動を図る。 ・平成17年度については、布団の買い替えを行う。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	東京都の高齢者人口(60歳以上)の構成比 平成4年16.5% 平成6年17.9% 平成8年19.4% 平成10年20.8% 平成12年21.7% 平成14年22.9% 平成16年24.1% 杉並区の高齢者人口(60歳以上)の構成比 平成16年23.4%		
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	利用機会の均衡化と施術者の技量の差の是正。		
	今後の予測	施術者の技術向上や、高齢者の増加に伴い需要が見込まれる。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 高齢者の健康の維持に一定の役割を果たしている。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 三療サービス実施の際に予約枠を空けない。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 現在も700円を徴収して利用者に施術を行っているが、その料金については施術者の収入となっている。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 利用者の負担を上げることにより、施術者の収入向上につながり、施術者に対する委託料を削減することができる。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 杉並区高齢者三療サービス連絡協議会に委託。		
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 受益者負担の見直しをした場合、利用者が減少することが予想されるので、当分は現状のまま事業を委託する。		

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 高齢者の健康維持と視覚障害者の雇用促進という両面から重要な事業と位置付けて、健康事業の一つとして毎週実施している阿佐谷北敬老会館での利用状況を検証しながら利用率の向上、施術費用等について検討していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 委託先の「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」と利用者の理解を得る必要がある。また、三療サービスの利用者を増やすためのPR活動と、三療サービスと他の健康事業(栄養講座、健康体操等)を組み合わせる魅力ある事業を展開する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	利用者を拡大させるため施術者の技能向上を図る。地域交流等を行いながら三療サービスの周知を図るとともに、他の健康事業(栄養講座、健康体操等)と組み合わせる。